



## 2020年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月10日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社  
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 2020年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	1,477	38.4	115		132		153	
2019年5月期第3四半期	2,399	52.6	24		59		80	

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 155百万円 ( %) 2019年5月期第3四半期 93百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	22.32	
2019年5月期第3四半期	12.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	3,555	1,908	53.7	268.58
2019年5月期	4,735	1,895	40.0	287.83

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 1,908百万円 2019年5月期 1,895百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		3.00	3.00
2020年5月期		0.00			
2020年5月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,727	41.1	294		319		324		46.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年4月10日)公表いたしました「2020年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期3Q	7,439,900 株	2019年5月期	7,439,900 株
期末自己株式数	2020年5月期3Q	332,882 株	2019年5月期	852,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期3Q	6,861,497 株	2019年5月期3Q	6,508,883 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年6月1日～2020年2月29日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善が継続し、また各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に加え、米中通商問題などの海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響も受け、先行きは不透明な状況にあります。

そのような中、日本国内の美術品市場では、近代美術の中低価格帯相場の急激な下落と、市場全体の流通量の大幅な減少が続いており、オークション関連事業にとって軽視できない状況にありました。

エネルギー関連事業では、再生可能エネルギーの固定買い取り制度を抜本的に見直すための法改正案が閣議決定され、低圧型太陽光発電施設販売事業にとって、収益目線での新たな案件の確保が非常に困難な状況にありました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①オークション関連事業

当第3四半期連結累計期間は、取扱高2,528,266千円（前年同期比29.7%減）、売上高1,383,761千円（前年同期比21.1%減）、セグメント損失6,931千円（前年同期間は79,796千円のセグメント利益）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第31期第3四半期連結累計期間							
	自 2019年6月1日 至 2020年2月29日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	541,380	△25.1	99,702	△48.1	4	349	266	76.2
近代陶芸オークション	260,430	△28.4	48,404	△31.6	3	531	476	89.6
近代美術PartⅡオークション	159,930	79.0	35,049	66.8	4	681	624	91.6
その他オークション	362,650	△64.2	88,143	△35.7	9	1,957	1,255	64.1
オークション事業合計	1,324,390	△39.5	271,300	△35.6	20	3,518	2,621	74.5
プライベートセール	1,202,933	△14.3	1,096,471	△16.7				
その他	942	△80.0	15,989	△8.8				
オークション関連 その他事業合計	1,203,875	△14.5	1,112,460	△16.6				
オークション関連事業合計	2,528,266	△29.7	1,383,761	△21.1				

(注) 1. 取扱高の前年比と売上高の前年比のかい離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

3. オークション関連事業の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期連結会計期間別の業績には季節の変動があります。

## i) オークション事業

当第3四半期連結累計期間は、近代美術オークション及び近代美術Part IIオークションを各4回、近代陶芸オークション及び戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを各3回、ワインオークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを各2回、西洋美術オークション及びMANGAオークションを各1回、合計で20回のオークションを開催しました。

これまで主力の近代美術オークションで取り扱っていた作品のうち、相場全体の下落によって主に低価格帯を取り扱う近代美術Part IIオークションの価格帯まで下落しているものが多く、結果として近代美術Part IIオークションでの取り扱い作品が急速に増えており、同オークションの当第3四半期連結累計期間は、取扱高が前年同期間の約1.8倍、売上高が前年同期間の約1.7倍の実績値となっている状況であります。このような中、当社が得意とする高価な良品の流通は市場全体で極めて少なく、オークションへの出品誘致が難しくなっており、大幅な取扱高の減少となりました。

近代美術オークションは、平均落札単価は前年同期比で31.3%減少しましたが、前年同期比で出品点数10.8%増、落札点数6.4%増となりました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は111.9%となりました。

近代陶芸オークションは、前年同期比で出品点数12.1%減、落札点数13.9%減、平均落札単価16.8%減となりましたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は131.4%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年同期比で出品点数6.6%増、落札点数18.4%増となりました。平均落札単価は前年同期比で50.7%増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率も195.6%と高水準で推移いたしました。

その他オークションでは、ワインオークションが引き続き好調を保ったほか、新たな柱となり得る戦後・現代美術へのシフトの一環として、戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを3回開催し取扱高75,755千円、落札率91.5%の実績を上げました。しかしながら、前年同期間には、オークション会場リニューアル及びShinwa Priveの画廊スペース新設記念特別オークションとして「Y氏コレクション - ART JUNGLE」を開催しており、前年同期間との比較では取扱高、売上高ともに大きく減少しております。

## ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、Shinwa Priveの画廊スペースを活用したお客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、高額作品を積極的に取り扱い順調に推移いたしました。前年同期間は特別高額な案件の成約があったため、前年比では、取扱高、売上高ともに減少しております。その他、高額ダイヤモンド販売事業は、消費税率引上げの影響を受け、9月には駆け込み需要があったものの10月以降はその反動で伸び悩みました。

## ②エネルギー関連事業

マレーシアにおけるPKS事業においては、継続して収益改善に取り組むとともに、販売先の開拓にも注力いたしました。その他、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業は継続しておりますが、低圧型太陽光発電施設販売事業の販売実績はありませんでした。以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比85.2%減の88,103千円、セグメント損失は、43,520千円（前年同期間は48,476千円のセグメント損失）となりました。

その他、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組み、以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,477,050千円（前年同期比38.4%減）、営業損失115,968千円（前年同期間は24,939千円の営業損失）、経常損失132,847千円（前年同期間は59,291千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失153,114千円（前年同期間は80,300千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、3,555,638千円となり、前連結会計年度末と比べ1,180,037千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少618,922千円、オークション未収入金の減少162,674千円、前渡金の減少63,744千円と商品の減少91,461千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,646,831千円になり、前連結会計年度末に比べ1,192,908千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少173,270千円、買掛金の減少97,220千円、短期借入金の減少710,522千円と長期借入金の減少（1年内返済予定を含む）112,199千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,908,807千円になり、前連結会計年度に比べ12,870千円増加いたしました。その主な内訳は資本剰余金の増加62,453千円と利益剰余金の減少181,496千円と自己株式の減少134,764千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案した結果、2019年7月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年4月10日）公表いたしました「2020年5月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,223,162	604,240
売掛金	19,121	11,482
オークション未収入金	190,609	27,934
商品	1,297,117	1,205,656
前渡金	147,991	84,246
その他	360,347	186,381
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,238,348	2,119,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,388	60,396
機械装置及び運搬具(純額)	847,594	799,458
土地	121,760	121,760
その他(純額)	30,282	26,418
有形固定資産合計	1,068,025	1,008,034
無形固定資産		
ソフトウェア	25,937	24,064
無形固定資産合計	25,937	24,064
投資その他の資産		
関係会社株式	74,873	64,873
その他	343,842	354,081
貸倒引当金	△15,351	△15,356
投資その他の資産合計	403,365	403,598
固定資産合計	1,497,328	1,435,697
資産合計	4,735,676	3,555,638
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	109,600	12,379
オークション未払金	274,563	101,292
短期借入金	1,112,542	402,020
1年内償還予定の社債	44,000	42,000
1年内返済予定の長期借入金	147,932	108,064
未払法人税等	63,972	38,390
賞与引当金	14,971	5,552
その他	175,209	161,169
流動負債合計	1,942,791	870,869
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	215,340	143,009
退職給付に係る負債	15,480	15,945
長期割賦未払金	503,451	463,007
役員退職慰労引当金	36,000	66,000
その他	86,676	68,000
固定負債合計	896,948	775,961
負債合計	2,839,739	1,646,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,142	1,133,142
資本剰余金	739,381	801,835
利益剰余金	247,529	66,033
自己株式	△221,063	△86,299
株主資本合計	1,898,990	1,914,711
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,052	△5,904
その他の包括利益累計額合計	△3,052	△5,904
純資産合計	1,895,937	1,908,807
負債純資産合計	4,735,676	3,555,638



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	2,399,341	1,477,050
売上原価	1,701,650	976,913
売上総利益	697,690	500,137
販売費及び一般管理費	722,629	616,105
営業損失(△)	△24,939	△115,968
営業外収益		
受取利息	479	409
未払配当金除斥益	137	204
デリバティブ評価益	684	1,229
法人税等還付加算金	75	219
受取査定報酬	308	532
受取保険金	-	434
その他	469	352
営業外収益合計	2,155	3,382
営業外費用		
支払利息	23,941	10,546
支払手数料	9,694	9,425
為替差損	2,871	-
その他	-	289
営業外費用合計	36,508	20,261
経常損失(△)	△59,291	△132,847
特別利益		
新株予約権戻入益	2,854	-
特別利益合計	2,854	-
特別損失		
固定資産除却損	157	-
事務所移転費用	3,510	-
投資有価証券評価損	-	37,574
訴訟関連損失	5,200	2,280
貸倒損失	-	7,051
その他	370	-
特別損失合計	9,238	46,906
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,675	△179,753
法人税、住民税及び事業税	42,213	43,189
法人税等調整額	△27,930	△69,827
法人税等合計	14,282	△26,638
四半期純損失(△)	△79,958	△153,114
非支配株主に帰属する四半期純利益	342	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△80,300	△153,114

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△79,958	△153,114
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13,080	△2,851
その他の包括利益合計	△13,080	△2,851
四半期包括利益	△93,039	△155,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,726	△155,966
非支配株主に係る四半期包括利益	△312	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第三者割当による自己株式の処分により資本剰余金が62,453千円増加し、自己株式が134,802千円減少いたしました。また、単元未満株式の買取により自己株式が38千円増加致しました。これにより当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が801,835千円、自己株式が△86,299千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	1,754,157	593,697	2,347,854	51,486	2,399,341	-	2,399,341
セグメント 利益又は損 失(△)	79,796	△48,476	31,320	27,030	58,350	△83,289	△24,939

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業及びマイクロファイナンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,289千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	1,383,761	88,103	1,471,864	5,185	1,477,050	-	1,477,050
セグメント 利益又は損 失(△)	△6,931	△43,520	△50,452	189	△50,262	△65,705	△115,968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,705千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）  
セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
  
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。